

さちひろ

発行：天理教狭千廣分教会 〒589-0021 大阪狭山市今熊1-1133 Tel.072-365-2571

E-mail :wat@sachihiro.com url :http://sachihiro.com 編集兼発行人・山口 渡

天理教狭千廣分教会の広報紙
1面・アルコール依存症の…
2面・幸せを届ける言葉
3面・おやさま逸話篇から
4面・教会の動き・編集後記

飲酒習慣からアルコールを口にする母親は少なくない。妊娠中は情緒が不安定になることもあって、従来の

ところ、これを胎児の側からみると、たとえ微量でも、母親の胎盤からそのまま吸収され、文字通りアルコール漬けの状態となる。



アルコール依存症の原因

村上和雄・筑波大学名誉教授が、アルコール依存症にスピリチュアルな体験の必要を訴えます

《女性のアルコール依存の害》

近年、女性のアルコール依存症が急増している。我が国の飲酒人口は6000万人を超えている。「酒は百薬の長」といわれるように、適正な飲酒の効用は医学的にも証明されている。ストレスの軽減はもとより、総死亡率および心血管系疾患の死亡率を低下させる効果も明らかになっている。

一方、その害は深刻である。アルコールの害は臓器に障害をもたらすにとどまらず、飲酒運転の悲惨な事故や、家庭の崩壊などを引き起こす場合も少なくない。また、アルコールによる行動傾向は親から子へと伝播（でんぱ）していく。いわゆる「世代間連鎖」である。

アルコール依存者を親に持つ子供は、心に傷を負いやすいといわれる。親の飲酒や暴力を毛嫌いしながらも、大人になると同じ行動をとったり、親と同じ行動傾向のある配偶者を選んだりする。

特に問題なのは、母親の飲酒である。妊娠中や授乳期に酒を飲むと、胎児や乳児へ直接的に影響がおよぶ。胎児性アルコール症候群という知能の発達障害が出る可能性がある。

教会の動き

- 朝づとめ…毎朝・6時30分
 - 夕づとめ…毎夕・7時00分
 - 春季大祭…1月21日午後1時30分
 - 秋季大祭…10月21日午後1時30分
 - 月次祭…毎月21日 午後1時30分
 - 春・秋季霊祭…3月22日・9月22日 午後1時30分
- ※教会の場所は、左の地図の🍀マーク。市立公民館の裏・西側です。



全教一斉にをいがけデー

9月28日から30日は、全教一斉にをいがけデーです。わたしたちの阪南支部でも28日は「路傍講演の日」と定めて、同日10時より11時30分まで、南海高野線金剛駅東側で路傍講演、チラシなどの配布を併せて実施します。心ある方は、是非ご参加下さい。

「狭山よふぼく躍進の集い」開催

来る10月28日(日)に、開催されます。要項は以下の通りです。
日時 10月28日(日)
午前9時受付開始
午前10時からおつとめ開始
おつとめまなび総会
記念講話・お楽しみ行事もあります。
服装 ハッピー、靴下着用。



《編集後記》

▼九月に入っても、一向におさまる気配のない猛暑でした。クマゼミの鳴き声がなかなか消えず、秋の虫たちの声もなりを潜めた、そんな感じでしたが、ようやくここに来て、セミの声が止み、虫の音が賑やかになってきました。

▼クマゼミと言えば、先月8月の20日から突然、電話もインターネットも繋がらなくなりました。テレビのニュースや新聞報道にクマゼミによって光ケーブルが切断されたという情報がありました。まさか、自分の処がその被害に遭うとは思いませんでした。

▼巻頭に久しぶりに村上先生が登場しました。わがホームページのブログの方もご覧ください。 <http://sachihiro.com> 「#やまさんのブログ」からお入りください。

さちひろ 第20号
編集兼発行人・山口 渡
平成19年9月28日
大阪狭山市今熊1丁目1133番地
Tel・072-365-2571

や乱用の度合いが一段と高い人は、この遺伝子の数が多いこともわかった。これにより、アルコール依存症になる素質は、遺伝的要因によって決まることがはっきりした。しかし、アルコール依存症の遺伝子を持つからといって、その人が必ずしも依存症になるわけではない。その人が酒を飲まなかつたら、依存症にはならないからだ。

これは、至極当たり前のことだが、重要な意味をはらんでいる。つまり、飲める・飲めないは遺伝子が決めても、飲む・飲まないは自分が決めるということである。

言い換えれば、アルコールを絶対口にしないという意志が、生得の遺伝的要因に勝るといふことであり、人は遺伝子にのみ左右される存在ではないということだ。このことは、私の研究分野である心の働きと遺伝子の相互関係にも通じるところがあるように思われる。

《遺伝子のスイッチをオフに》

先に述べたように、アルコール依存症からの回復は、その精神依存度からして非常に困難とされる。たとえ断酒

の誓いを立て、長く禁酒を続けても、たった一杯の酒を口にしただけで元の木阿弥（もくあみ）になることは、よく知られている。

ゆえに、家族や周囲の者は、本人と共に断酒会に参加するなどして、酒を断つ意志を生涯持ち続けるように働きかけていく。そんな自助グループの一つに、AAというグループがある。このグループの特徴は、スピリチュアルなアプローチを、依存症からの回復に役立てていることだ。AAの設立には精神分析学のカール・G・ユングが関わっている。ユングは、重いアルコール依存症でAAの設立者となった人物に言う。「あなたは医師や精神医療ではどうにもならない。スピリチュアルな体験をすれば、つまり真の転換を体験すれば、回復可能かもしれない」と。酒を断つような環境をつくり、依存者が助け合うような場を整え、そして、いま生かされていることに感謝できるような心になれば、依存症にかかわるさまざまな遺伝子のスイッチをオフにすることが可能であると考えている。

（むらかみ かずお）

幸せを届ける言葉

高橋美津志「ちよつとひとこと」

（善本社刊）から

幸福とは

身でつとめて、心で消す、という言葉がある。よい行いをしても、俺がしてやったという心のおごりや、救けてやったのに感謝もしないと、相手を責める不足の心が、善い行いを消している。いくら善い事をして、心で消しては、幸せにはなれない。善い事をしたら、つとめさせて頂いて、本当に有難いと、喜ぶ心に幸福は宿る。

『稿本天理教祖伝逸話篇』 45

教祖は、一枚の紙も、反故やからとて粗末になさらず、おひねりの紙なども、丁寧に皺を伸ばして、座布団の下に敷いて、御用にお使いなされた。お話に、

「皺だらけになった紙を、そのまま置けば、落とし紙か鼻紙にするより仕様ないで。これを丁寧に皺を伸ばして置いたなら、何んなりとも使われる。落とし紙や鼻紙になったら、もう一度引き上げるとは出来ぬやろ。」

人のたすけもこの理やで。心の皺を、話の理で伸ばしてやるのやで。心も、皺だらけになったら、落とし紙のようなものやろ。そこを、落とさずに救けるが、この道の理やで。」と、お聞かせ下された。

ある時、増井りんが、お側に来て、「お手許のおふで書きを写さして頂きたい。」とお願いと、

「紙があるかえ。」と、お尋ね下されたので、「丹波市へ

心の皺を

行て買うて参ります。」と申し上げたところ、

「そんな事しては遅うなるから、わしが括つてあげよう。」

と、仰せられ、座布団の下から紙を出し、大きい小さいを構わず、墨のつかぬ紙をよりぬき、御自身でお綴じ下されて、

「さあ、わしが読んでやるから、これへお書きよ。」

とて、お読み下された。りんは、筆を執つて書かせて頂いたが、これは、おふで書き第四号で、今も大小不揃いの紙でお綴じ下されたまま保存させて頂いている、という。

■別の逸話篇に、こんな話もあります。教祖は、参拝人のない時は、お居間に一人でおいでになるのが常であった。そんな時は、よく、反故の紙の皺を伸ばしたり、御供を入れる袋を折つたりなされていた。（一一〇 魂は生き通し）
当時、紙は今の時代とちがって、か

なり貴重なものでした。だからだれもが粗末な使い方をせず、大切に使用していました。おやさまのこのような態度は、そういう時代にかかわらず徹底したのを見る事ができます。

一時期、ペーパーレス時代が近いうちに来ると言われましたが、全然実現していません。むしろ紙の使用料は増加傾向で推移しているのではないのでしょうか。

紙の使いすぎは、地球上の木材資源をどんどん消費して、その結果、集中豪雨や豪雪のような自然災害の原因になつていふように思えます。環境破壊がそれらの災害の背後にあることは間違いないでしょう。近未来の災害対策も大事ですが、さらに大きな視野で地球環境を考えたいものです。

■またお道の修行を皺紙を伸ばすというたとえて説かれたものです。「心の皺を話の理で伸ばしてやる」ことが「人をたすける」理であると説かれている所以です。